

消火栓・格納箱について



◇消火栓とは

消火栓とは、町のいたるところに設置されている、黄色(もしくはオレンジ色)の蓋のことです。消火栓は、火災が発生した時に使用する消防水利であり、この設備は、消防隊のみが使う専用の設備ではなく、一般の住民の方でも使用できるものです。いざ、火災が発生したときに使えるようにしておくことで、発生した火災の拡大を防ぎ、初期消火を成功させることに繋がります。

〈消火栓〉

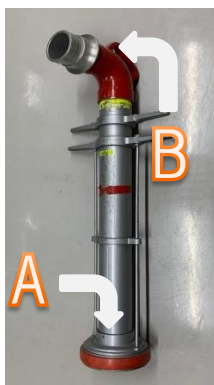


◇格納箱とは

消火栓の近くには格納箱という赤いボックスが設置されています。この中に入っている資器材と消火栓を使用し、初期消火を行います。格納箱の中には、消防用ホース(4本もしくは3本)・スタンドパイプ・消火栓キー・筒先が入っています。なお、格納箱周辺の状況によって、スタンドパイプが入っていない格納箱もあります。



〈消防用ホース〉



〈スタンドパイプ〉



〈消火栓キー〉



〈筒先〉

※上記写真の消防用ホース・スタンドパイプ・筒先において、A をメス金具、B をオス金具と言います。同じ資器材ではなくても、メス金具とオス金具であれば結合することが可能です。それぞれの資器材を結合して使用します。

◇消火栓使用時の注意点

筒先を保持する役割が2人、放水開始・停止の伝令の役割が1人、消火栓の開閉をする役割が1人、合計4人で行います。これを4人未満で行うと、安全に消火活動ができなくなるため、4人以上で安全かつ確実な消火活動を心がけましょう。



◆消火栓の取扱い操作手順(消火栓の蓋開放から放水停止まで)

1. 蓋を開ける



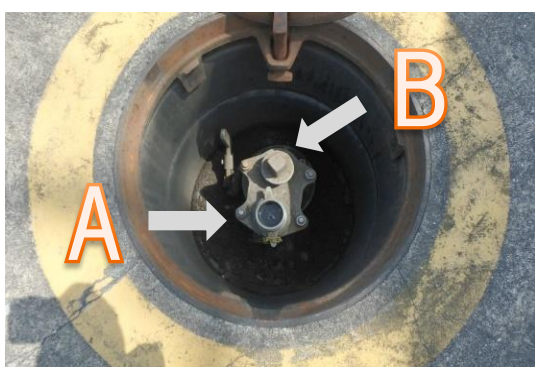
蓋が開けにくい時は、上の写真のように消火栓キーを用いて、開けやすくしておきましょう。



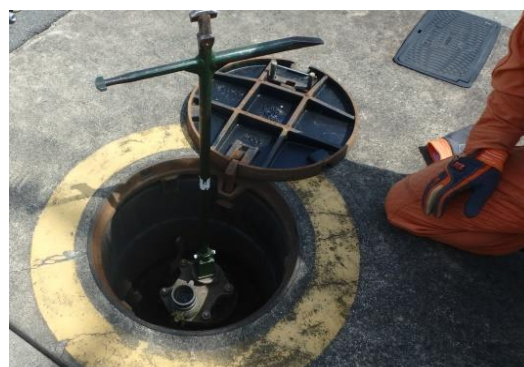
取手部分も砂利で取り出しにくくなっていることがあるため、写真のように消火栓キーを用いて取り出しやすくしましょう。



2. 消火栓キーの設定



A 部分にスタンドパイプ、もしくは消防用ホースを結合します。B 部分に消火栓キーを差し込みます。



消火栓キーは、消火栓の開閉で使用するため、蓋を開けた後は B 部分に差したままにします。

3. 消火栓と消防用ホースの結合



A 部分にスタンドパイプを結合すると写真のようになります。結合した後は、一度引っ張って、しっかり結合できているか確認しましょう。



スタンドパイプのオス金具に、消防用ホースのメス金具を結合します。この時も、しっかりと結合の確認をしましょう。



※消火栓の中の結合部の深さは様々です。あまり深くない消火栓の場合は、格納箱の中にスタンドパイプが入っていないことがあるため、左の写真のように、消防用ホースのメス金具を直接結合します。

4. 消防用ホースの延長



メス金具が結合できたら、オス金具側が残ります。



オス金具を持ってホースを延ばします。



放水する場所に向かって、できる限りホースのラインが折れ曲がらないように延ばします。消防用ホースが折れ曲がると、水圧が足りなくなる原因となるので、注意しましょう。消防用ホースが1本では足りない場合は、別の消防用ホースを結合して、放水する場所までホースを延長していきます。

5. 筒先の結合



消防用ホースの先端と、筒先のメス金具を結合します。この時もしっかりと結合ができているか、結合の確認を行いましょう。

6. 放水



放水する時は、筒先側は2人で保持し、放水の体勢を取ります。写真のように筒先を持つ人と、筒先保持の補助として消防用ホースを保持する人に分かります。放水中は水圧で後ろ側に引かれる力が強いので、写真のように前傾姿勢で、しっかりと筒先を保持しましょう。

7. 伝令(放水始め)



放水する時は、筒先側の放水を始める指示で放水します。
曲がり角などで筒先側が見えていない場合や、距離が遠い場合など放水の指示が聞こえない場合があるため、伝令役の人が消火栓を開閉する役割の人の所まで放水の指示を伝えに行きます。

8. 消火栓開放



放水開始の指示があれば、消火栓キーを反時計回りに回して消火栓を開けます。一気に開けると勢いよく水が出てしまうため、ゆっくりと開けるようにしましょう。また、放水開始の指示がない状態で自分のタイミングで開けてしまうと、筒先側の準備ができていない状態で放水してしまう可能性があり、大変危険ですので、必ず放水開始の指示があった後に開けるようにしましょう。

9. 伝令(放水停止)



放水を開始する時と同様に、放水を停止する時も、伝令役の人が放水を停止する旨を伝えに行きます。
なお、消火栓を使用した場合の資器材の撤収は、消防隊が行いますので、現場に到着した消防隊に引き継ぐようにしてください。

